BUFFALO

Ethernet メディアコンバータ
設定ガイド

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

⚠注意 **マーク** 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。 この注意事項に従わなかった場合、 身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモ **マーク** 製品の取り扱いに関する補足事項、 知っておくべき事項です。

▶参照 **マーク** 関連のある項目のページを記しています。

・文中 [ ] で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。

・文中『 』で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。

・本書では原則として Ethernet メディアコンバータを本製品と表記しています。

・本書では原則として弊社製無線アダプタを装着したパソコンを無線パソコンと表記しています。

・ケーブルで接続された 10/100BASE の LAN とケーブルを使用しない無線 LAN を明確にするために本書では次の用語を使用しています。
有線 LAN…ケーブルで接続された LAN
無線 LAN…無線通信を使用した LAN
上記は、説明のために本書のみで便宜上使用する用語であり、一般的には使用されません。あらかじめご了承ください。

■ 本書に記載された仕様、 デザイン、 その他の内容については、 改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、 万一ご不審な点や誤り、 記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。 万一、 一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、 弊社はいかなる責任も負いかねますので、 あらかじめご了承ください。

・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、 高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・ 一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、 日本国内でのみ使用されることを前提に設計、 製造されています。 日本国外では使用しないでください。 また、 弊社は、 本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、 外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等 （または役務） に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、 日本国政府の輸出許可 （または役務取引許可） が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、 本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。 特に、 注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、 弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、 本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、 無償にて当該瑕疵を修補し、 または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、 当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

はじめに

このたびは、本製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。

本製品は、有線ネットワーク機器の LAN ケーブルを無線化にする製品です。「らくらく！セットアップシート」および本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■　設定変更に必要な環境

下記のいずれかのパソコン

・Windows XP/2000/Me/98/95/NT4.0 搭載パソコン

・Macintosh［Mac OS 8.6 以降］（ただし、WEB ブラウザが必要です。）

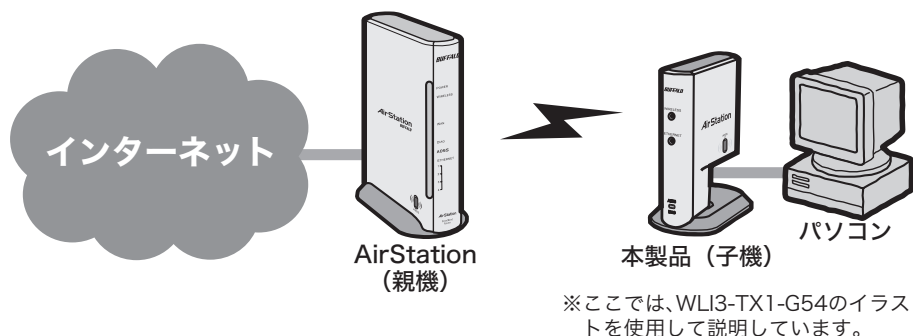
※ WEB ブラウザで本製品の設定をおこなう際は、 以下のバージョンの WEB ブラウザが必要です。

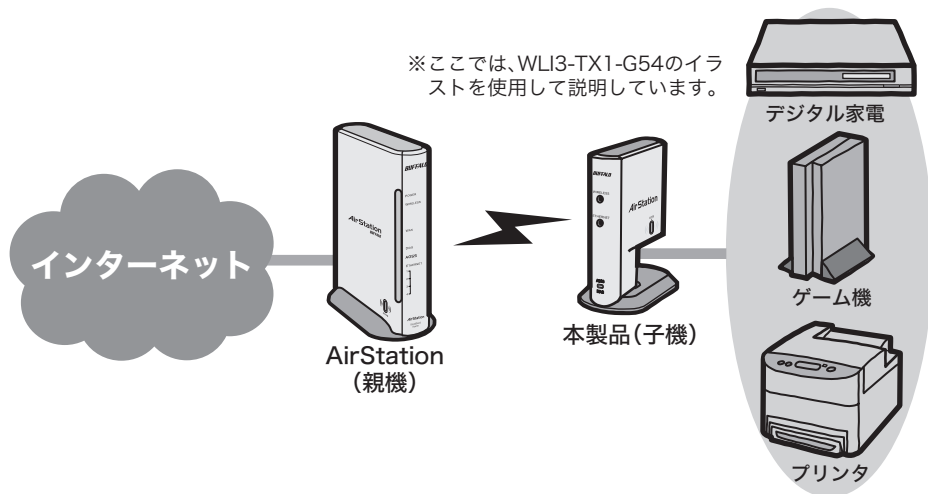
・ Internet Explorer5.0 以降　・ Netscape Navigator6.0 以降　・ Safari1.0 以降

※ Macintosh をお使いの場合、 ファームウェアのアップデート機能が使えません。

■ 本製品の使用例

使用例①：パソコンを無線ネットワークにつなぐ

⇒「第1章 パソコンを無線ネットワークにつなごう」(P.5)を参照して、設定をおこなってください。

使用例②：ゲーム機、デジタル家電やプリンタを無線でつなぐ

⇒「第 2 章 ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタを無線でつなごう」(P.13)を参照して、設定をおこなってください。

使用例③：複数のネットワーク機器を無線でつなぐ（マルチクライアント機能）

※ この使い方は、 WLI2-TX1-AG54 および WLI-T1-B11 には対応していません。

⇒「第 3 章 複数のネットワーク機器を 無線でつなごう」（P.33）を参照して、設定をおこなってください。

<LANポートが１ポートのみのイーサネットコンバータをお使いの場合>
（WLI3-TX1-G54/WLI2-TX1-AMG54(-AG54)/WLI-T1-B11など）

<LANポートが４ポートあるイーサネットコンバータをお使いの場合>
（WLI-TX4-G54HPなど）

目　次

第 1 章
パソコンを無線ネットワークにつなごう

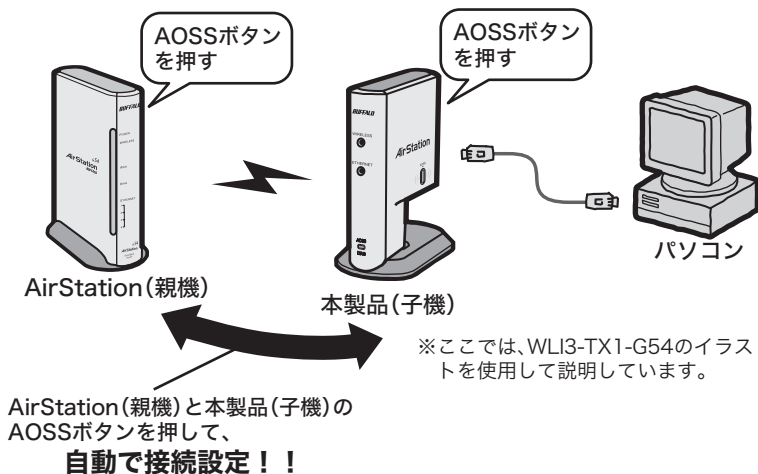
LAN ポートを搭載したパソコンを無線パソコンとして使います。

1.1 設定のしかた

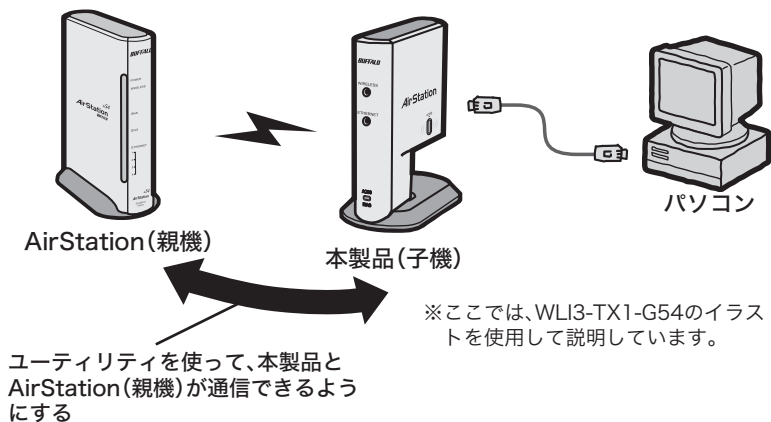
本製品のセットアップは、下記の２つの方法があります。環境に合ったセットアップ方法を選んで、 セットアップをおこなってください。

• ボタンを押して自動的に設定をおこなう（AOSS）
• パソコンからユーティリティを実行して設定する

■ ボタンを押して自動的に設定をおこなう場合（AOSS）

※ AOSS に対応した AirStation（親機）をお使いの場合は、この手順で設定してください。

⇒「らくらく！セットアップシート」を参照して設定をおこなってください。

■　パソコンからユーティリティを実行して設定する場合

※　AOSSに対応していないAirStation（親機）をお使いの場合は、この手順で設定してください。

⇒「パソコンからユーティリティを実行して設定する」（P8）を参照して設定をおこなってください。

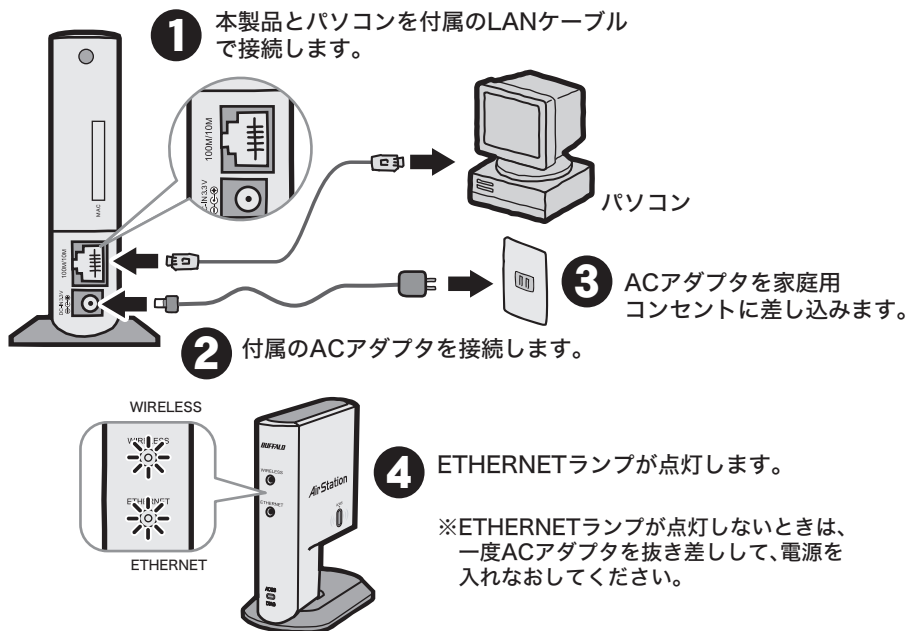
1.2 パソコンからユーティリティを実行して設定する

Step 1 本製品(子機)を接続しよう

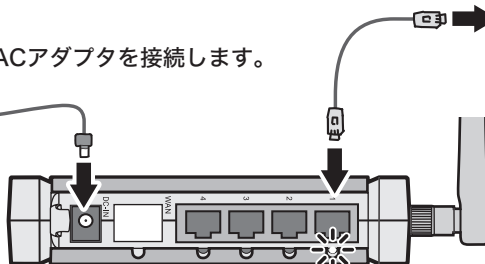
本製品のセットアップは、LAN ポートを搭載したパソコンから行ないます。

メモ
・設定を行なうパソコンの有線 LAN ポートが正しく動作していることを確認してください。
・Macintosh をお使いの方は、下記の手順でケーブルを接続した後、「第 4 章　WEB 設定画面」を参照して設定をおこなってください。

<LANポートが1ポートのみのイーサネットコンバータをお使いの場合>
(WLI3-TX1-G54/WLI2-TX1-AMG54(-AG54)/WLI-T1-B11など)

＜LANポートが４ポートあるイーサネットコンバータをお使いの場合＞
（WLI-TX4-G54HPなど）

❶ 本製品とパソコンを付属のLANケーブルで接続します。

❷ 付属のACアダプタを接続します。

家庭用コンセント

パソコン

❸ ランプが点灯します。

※ランプが点灯しないときは、一度ACアダプタを抜き差しして、電源を入れなおしてください。

Step 2 本製品(子機)の設定をしよう

本製品(子機)を AirStation(親機)に無線で接続します。

メモ　Macintoshをお使いの方は、「第4章　WEB設定画面」を参照して設定をおこなってください。

1　パソコンを起動します。

2　添付の CD-ROM(Ethernet Converter CD)をパソコンにセットします。

3

1 [ユーティリティをインストール] を選択します。

2 [実行] をクリックします。

4

1 [次へ] をクリックします。

5

6

5. 1 使用許諾契約を読み、同意できる場合は、[はい]をクリックします。

6. 1 イーサネットコンバータマネージャのインストール先を確認します。

6. 2 [次へ]をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。

7

「イーサネットコンバータ」がチェックされていることを確認します。

[次へ]をクリックします。

8

[完了]をクリックします。

9 [スタート]－[プログラム]－[BUFFALO]－[イーサネットコンバータ]－[イーサネットコンバータマネージャ]を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動します。

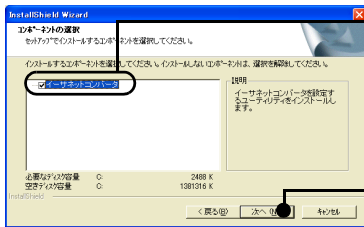
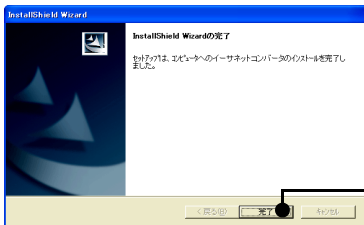
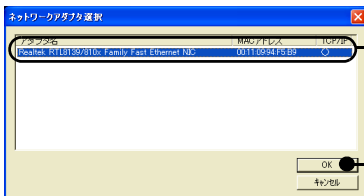
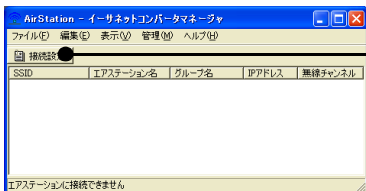
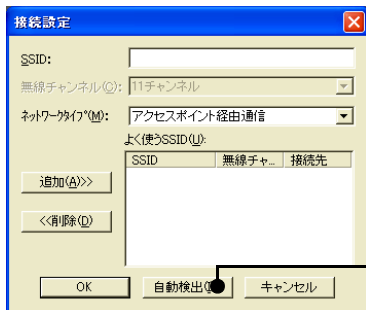
10

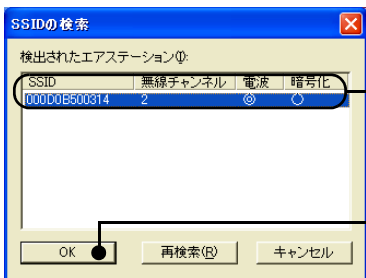
お使いの LAN アダプタを選択します。

[OK]をクリックします。

11

[接続設定]をクリックします。

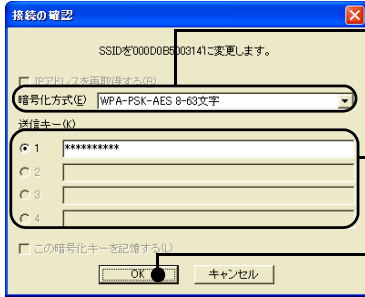
12

[自動検出]をクリックします。

13

1 選択 接続する AirStation を選択します。

2 クリック [OK]をクリックします。

14

1 クリック [OK]をクリックします。

15

1 選択 AirStation の暗号化の種類を選択します。

2 入力 AirStation の暗号キーを入力します。

3 クリック [OK]をクリックします。

AirStation の検索が始まります。

16

1 確認 AirStation 名が黒色で表示され、アンテナマークが表示されます。

17

イーサネットコンバータマネージャを閉じます。

これで、AirStation(親機)と無線で通信できるようになります。

第2章

ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタを無線でつなごう

ネットワーク接続可能なゲーム機、デジタル家電やプリンタなどを無線でつなぎます。

2.1 設定のしかた

本製品のセットアップは、 下記の 3 つの方法があります。 環境に合ったセットアップ方法を選んで、 セットアップをおこなってください。

- ボタンを押して自動的に設定をおこなう（AOSS）
- 有線（ケーブル）で接続するパソコンから設定する
- 無線パソコンから設定する

■ ボタンを押して自動的に設定をおこなう場合（AOSS）

※ AOSS に対応した AirStation（親機）をお使いの場合は、この手順で設定してください。

⇒「らくらく！セットアップシート」を参照して設定をおこなってください。

■　有線（ケーブル）で接続するパソコンから設定する場合

※ 有線LANポートを搭載したパソコンをお使いの方は、この手順で設定することをお勧めします。

本製品（子機）を設定した後、ゲーム機／プリンタ／デジタル家電に接続します。

⇒「有線（ケーブル）で接続するパソコンから設定する」（P17）を参照して設定をおこなってください。

■　無線パソコンから設定する場合

※　無線パソコンから設定を行なう場合は、一度AirStationの暗号化設定を使用しない設定にする必要があります。（Macintosh　をお使いの方は、この手順では設定できません。）

⇒「無線パソコンから設定する」（P24）を参照して設定をおこなってください。

2.2 有線(ケーブル)で接続するパソコンから設定する

Step 1 本製品(子機)の設定をしよう

本製品のセットアップは、LAN ポートを搭載したパソコンから行ないます。

メモ ・**設定を行なうパソコンの有線 LAN ポートが正しく動作していることを確認してください。**
・**Macintosh をお使いの方は、下記の手順１でケーブルを接続した後、「第 4 章　WEB 設定画面」を参照して設定をおこなってください。**

1 本製品をパソコンの LAN ポートへ接続します。

<LANポートが１ポートのみのイーサネットコンバータをお使いの場合>
(WLI3-TX1-G54/WLI2-TX1-AMG54(-AG54)/WLI-T1-B11など)

<LANポートが4ポートあるイーサネットコンバータをお使いの場合>
(WLI-TX4-G54HPなど)

2 添付の CD-ROM(Ethernet Converter CD)をパソコンにセットします。

3

4

5

使用許諾契約を読み、同意できる場合は、[はい]をクリックします。

6

1 確認 イーサネットコンバータマネージャのインストール先を確認します。

2 クリック [次へ]をクリックします。

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

7

1 確認 「イーサネットコンバータ」がチェックされていることを確認します。

2 クリック [次へ]をクリックします。

8

1 クリック [完了]をクリックします。

9 [スタート]－[プログラム]－[BUFFALO]－[イーサネットコンバータ]－[イーサネットコンバータマネージャ]を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動します。

10

お使いの LAN アダプタを選択します。

[OK]をクリックします。

11

[接続設定]をクリックします。

12

[自動検出]をクリックします。

13

接続する AirStation を選択します。

[OK]をクリックします。

14

[OK]をクリックします。

15

1 AirStation の暗号化の種類を選択します。

2 AirStation の暗号キーを入力します。

3 [OK]をクリックします。

AirStation の検索が始まります。

16

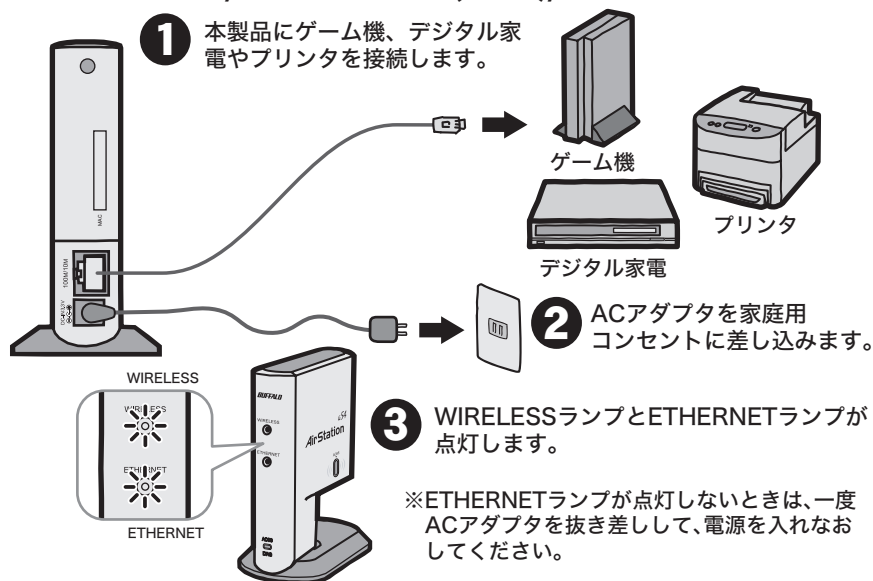
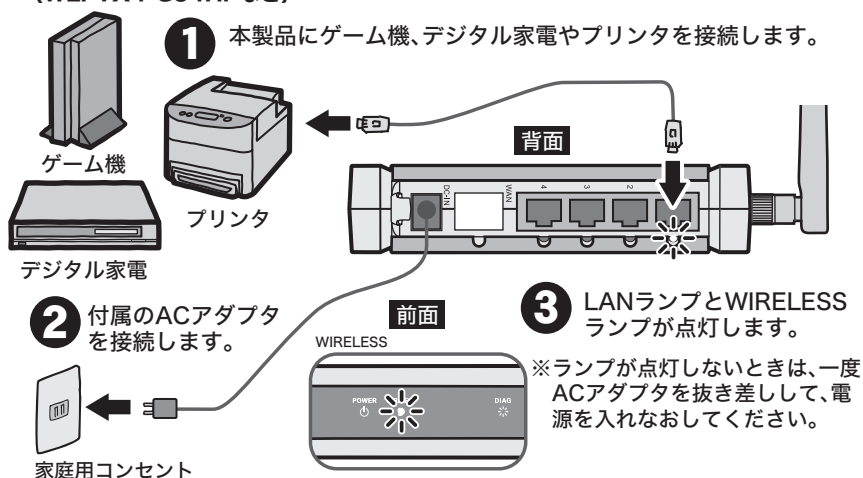
1 AirStation 名が黒色で表示され、アンテナマークが表示されます。

17 イーサネットコンバータマネージャを閉じます。

これで、AirStation(親機)と無線で通信できるようになります。

Step 2 本製品(子機)を接続しよう

本製品を有線 LAN ポート搭載ゲーム機、デジタル家電やプリンタに接続して、正しく通信できるか確認します。

1 **<LANポートが１ポートのみのイーサネットコンバータをお使いの場合>**
(WLI3-TX1-G54/WLI2-TX1-AMG54(-AG54)/WLI-T1-B11など)

<LANポートが４ポートあるイーサネットコンバータをお使いの場合>
(WLI-TX4-G54HPなど)

2 パソコンを AirStation（親機）に接続します。

3 AirStation　に接続された　Windows　パソコンから、[スタート]－[プログラム]－[BUFFALO]－[イーサネットコンバータ]－[イーサネットコンバータマネージャ]を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動して、自動的に検索が始まります。

4

本製品が表示されたら設定は完了です。

[閉じる]をクリックして、イーサネットコンバータマネージャを終了します。

これで、　設定は完了です。

2.3 無線パソコンから設定する

Step 1 AirStation の暗号化設定を無効にしよう

本製品は、 出荷時設定で近くの AirStation と自動的に接続する設定になっています。ただし、 AirStation に暗号化の設定がされていると通信できませんので、 暗号化設定を 「使用しない」 に設定してください。

※ その他、 AirStation は以下の状態 （AirStation の出荷時設定と同じ） である必要があります。

- MAC アドレス制限 ： 制限しない
- ANY 接続 ： 許可する

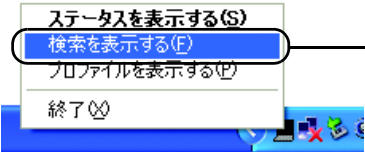
1 AirStation **のマニュアルを参照して、暗号化設定を「使用しない」に設定してください。**

WHR2-G54/WBR-G54/B11 をお使いの場合の設定例

※ **下記の手順は、** AirStation **のファームウェアのバージョンによって異なります。**

① AirStation に添付されている AirNavigator CD をパソコンにセットして、AirNavigator を起動します。
②［エアステーション設定］を選択して、［実行］をクリックします。
③お使いのネットワークアダプタを選択して、［次へ］をクリックします。
④ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザ名」欄に「root」を入力、「パスワード」欄を空欄にして、［OK］をクリックします。
⑤設定画面が表示されますので、「機能設定」タブをクリックします。
⑥「無線の信号を暗号化する (WEP/TKIP/AES)」を選択します。
⑦「暗号化しない」を選択して、［進む］をクリックします。
⑧「AirStation の暗号化の設定は完了しました」と表示されたら、ブラウザを閉じます。

WHR-G54 をお使いの場合の設定例

※ **下記の手順は、** AirStation **のファームウェアのバージョンによって異なります。**

① AirStation に添付されている AirNavigator CD をパソコンにセットして、AirNavigator を起動します。
②［エアステーション設定］を選択して、［実行］をクリックします。
③お使いのネットワークアダプタを選択して、［次へ］をクリックします。
④ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザ名」欄に「root」を入力、「パスワード」欄を空欄にして、［OK］をクリックします。
⑤設定画面が表示されますので、左に表示されている「LAN 設定」をクリックします。
⑥「WEP」欄の「WEP 使用する」のチェックボックスを外して、画面下の［設定］をクリックします。
⑦「下記の設定変更を行います。」と表示されたら、［設定］をクリックします。
⑧「設定が完了しました」と表示されたら、ブラウザを閉じます。

2 AirStation の暗号化設定を変更したため、設定するパソコンと AirStation が通信できない状態となります。
AirStation のマニュアルを参照して、AirStation に接続しなおしてください。

AirStation への再接続手順の例

※ 下記の手順は、 Client Manager2 やクライアントマネージャのバージョンによって異なります。

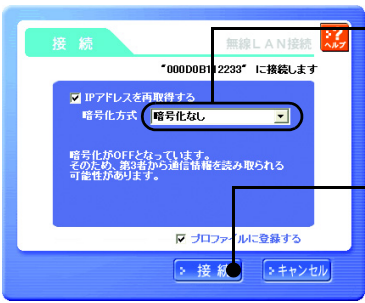
1

画面右下のタスクトレイにある アイコンを右クリックして、「検索を表示する」を選択します。

2

AirStation のネットワーク名(SSID)を選択します。

「接続」をクリックします。

3

「暗号化なし」を選択します。

「OK」をクリックします。

4

「接続中」と表示されたことを確認します。

確認が終わったら、 本製品 （子機） の設置をおこないます。

Step 2 本製品（子機）を設定しよう

1 本製品を有線 LAN ポート搭載のゲーム機、デジタル家電やプリンタに接続します。

<LANポートが1ポートのみのイーサネットコンバータをお使いの場合>
（WLI3-TX1-G54/WLI2-TX1-AMG54(-AG54)/WLI-T1-B11など）

<LANポートが4ポートあるイーサネットコンバータをお使いの場合>
（WLI-TX4-G54HPなど）

2 添付の CD-ROM（Ethernet Converter CD）をパソコンにセットします。

3

[ユーティリティをインストール]を選択します。

[実行]をクリックします。

4

[次へ]をクリックします。

5

使用許諾契約を読み、同意できる場合は、[はい]をクリックします。

6

イーサネットコンバータマネージャのインストール先を確認します。

[次へ]をクリックします。

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

7

「イーサネットコンバータ」がチェックされていることを確認します。

[次へ]をクリックします。

8

[完了]をクリックします。

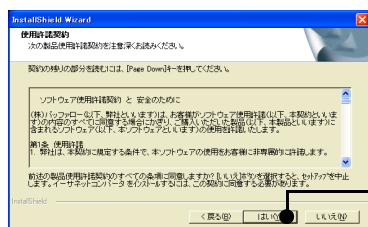
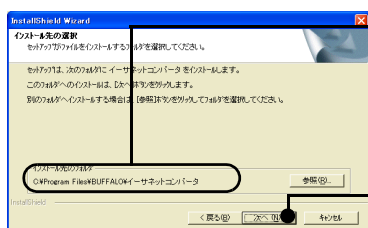
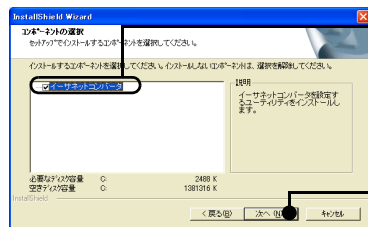
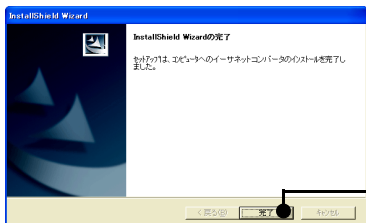
9

[スタート]－[プログラム]－[BUFFALO]－[イーサネットコンバータ]－[イーサネットコンバータマネージャ]を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動します。

10

お使いの LAN アダプタを選択します。

[OK]をクリックします。

11

[接続設定]をクリックします。

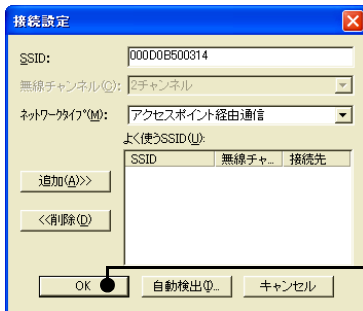
「イーサネットコンバータが見つかりませんでした」と表示されたときは、「イーサネットコンバータマネージャで本製品が検索できません」を参照してください。

12

[自動検出]をクリックします。

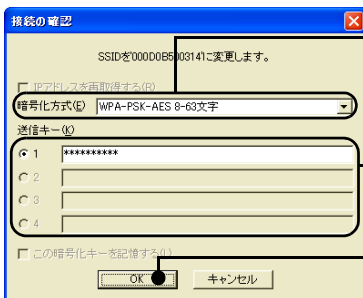
13

接続する AirStation を選択します。

メモ 「暗号化」欄が「○」の場合は、AirStationは暗号化されています。

[OK]をクリックします。

14

[OK]をクリックします。

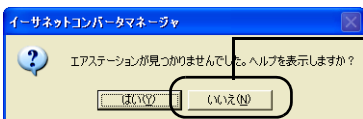
15

AirStation の暗号化の種類を選択します。

AirStation の暗号キーを入力します。

[OK]をクリックします。

メモ 暗号化されていない場合は、空欄のまま[OK]をクリックします。

AirStation の検索が始まります。

16

この段階では、本製品と AirStation の暗号化設定が異なるため、左のエラーメッセージが表示されますが、[いいえ]をクリックしてください。

17 検索が終了したら、イーサネットコンバータマネージャを閉じます。

Step 3 AirStation の暗号化設定を元に戻そう

AirStation の暗号キーを元に戻して、本製品と正しく通信できるか確認します。

1 **AirStation のマニュアルを参照して、暗号化設定を元に戻してください。**

WHR2-G54/WBR-G54/B11 をお使いの場合の設定例

※ **下記の手順は、 AirStation のファームウェアのバージョンによって異なります。**

① AirStation に添付されている AirNavigator CD をパソコンにセットして、AirNavigator を起動します。

②[エアステーション設定]を選択して、[実行]をクリックします。

③お使いのネットワークアダプタを選択して、[次へ]をクリックします。

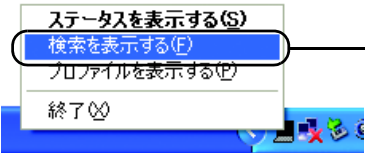
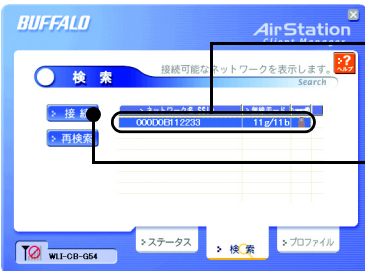
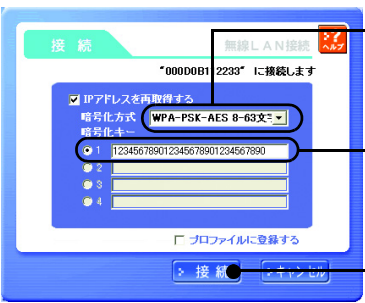
④ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザ名」欄に「root」を入力、「パスワード」欄を空欄にして、[OK]をクリックします。

⑤設定画面が表示されますので、「機能設定」タブをクリックします。

⑥「無線の信号を暗号化する(WEP/TKIP/AES)」を選択します。

⑦暗号化の種類(WEP/TKIP/AES)を選択し、P31 の手順 3 で設定した暗号キーを入力します。

⑧入力が終わったら、[設定]をクリックします。

⑨「設定が完了しました」と表示されたら、ブラウザを閉じます。

WHR-G54 をお使いの場合

※ **下記の手順は、 AirStation のファームウェアのバージョンによって異なります。**

① AirStation に添付されている AirNavigator CD をパソコンにセットして、AirNavigator を起動します。

②[エアステーション設定]を選択して、[実行]をクリックします。

③お使いのネットワークアダプタを選択して、[次へ]をクリックします。

④ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザ名」欄に「root」を入力、「パスワード」欄を空欄にして、[OK]をクリックします。

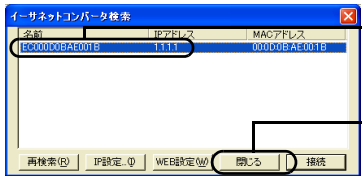
⑤設定画面が表示されますので、左に表示されている「LAN 設定」をクリックします。

⑥「WEP」欄の「WEP 使用する」にチェックをつけてから、「1」を選択し、P31 の手順 3 で設定した暗号化(WEP)キーを入力します。

⑦入力が終わったら、画面下の[設定]をクリックします。

⑧「下記の設定変更を行います。」と表示されたら、[設定]をクリックします。

⑨「設定が完了しました」と表示されたら、ブラウザを閉じます。

2 AirStation のマニュアルを参照して、AirStation に接続しなおしてください。

AirStation への再接続手順の例

※ 下記の手順は、Client Manager2 やクライアントマネージャのバージョンによって異なります。

1

画面右下のタスクトレイにある アイコンを右クリックして、「検索を表示する」を選択します。

2

AirStation のネットワーク名(SSID)を選択します。

「接続」をクリックします。

3

AirStation に設定する暗号化の種類を選択します。

AirStation に設定する暗号キーを入力します。

※ ここで入力した暗号キーは、無線アダプタ(子機)に設定されます。

「OK」をクリックします。

4

「接続中」と表示されたことを確認します。

Step 4 本製品(子機)と正しく通信できるか確認しよう

イーサネットコンバータマネージャを起動して、本製品(子機)と正しく通信できるか確認します。

1 [スタート]－[プログラム]－[BUFFALO]－[イーサネットコンバータ]－[イーサネットコンバータマネージャ]を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動して、自動的に検索が始まります。

2 本製品が表示されたら設定は完了です。

[閉じる]をクリックして、イーサネットコンバータマネージャを終了します。

これで、 設定は完了です。

第3章
複数のネットワーク機器を無線でつなごう

（WLI2-TX1-AG54/WLI-TX1-B11を除く）

有線のネットワークを無線でつなぎます。

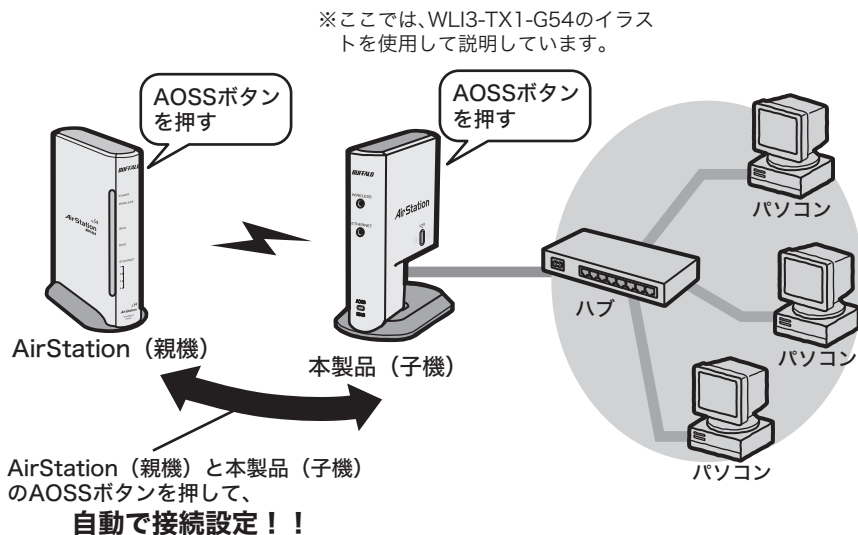
この使い方は、 WLI2-TX1-AG54 および WLI-T1-B11 には、 対応していません。

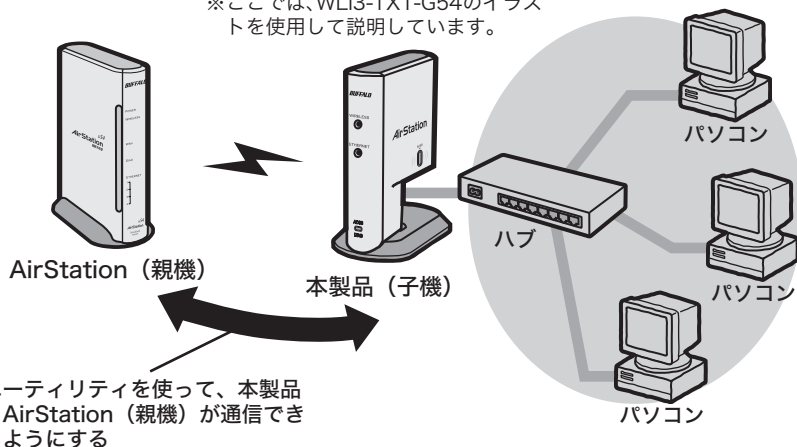
3.1 設定のしかた

本製品のセットアップは、 下記の 2 つの方法があります。 環境に合ったセットアップ方法を選んで、 セットアップをおこなってください。

• ボタンを押して自動的に設定をおこなう（AOSS）
• 有線（ケーブル）で接続するパソコンから設定する

■ ボタンを押して自動的に設定をおこなう場合（AOSS）

※ AOSS に対応した AirStation（親機）をお使いの場合は、この手順で設定してください。

⇒「らくらく！セットアップシート」を参照して設定をおこなってください。

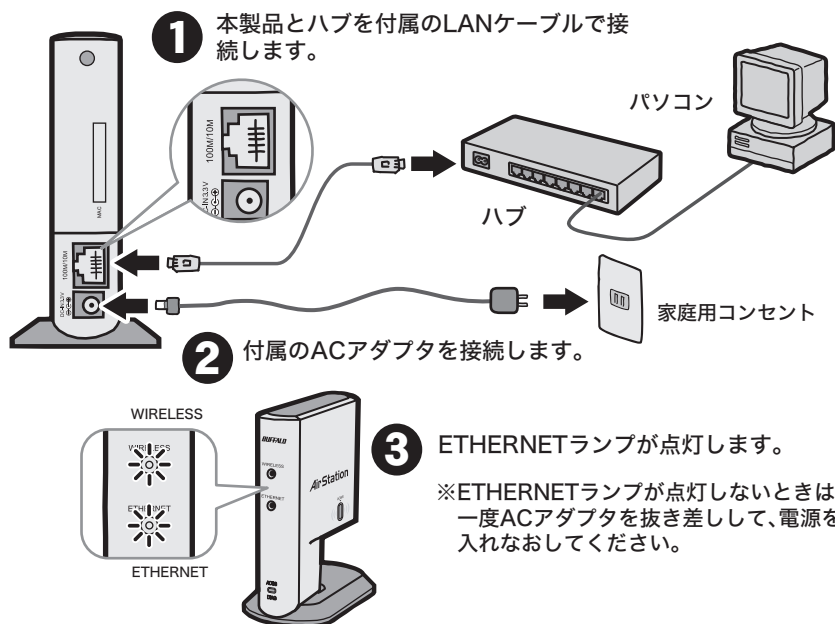
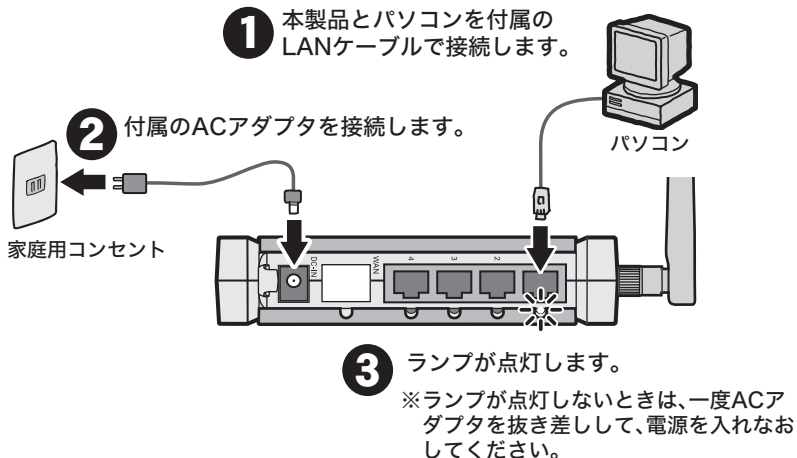
■　パソコンからユーティリティを実行して設定する場合

⇒「パソコンからユーティリティを実行して設定する」（P36）を参照して設定をおこなってください。

3.2 パソコンからユーティリティを実行して設定する

Step 1 本製品(子機)を接続しよう

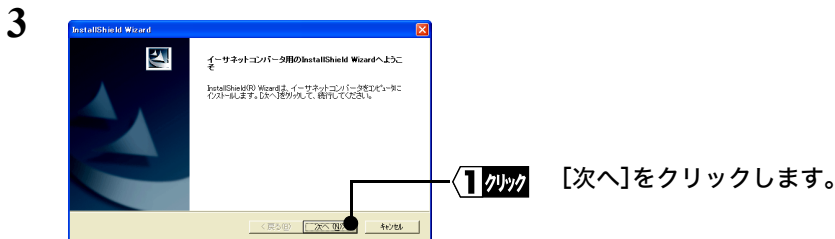
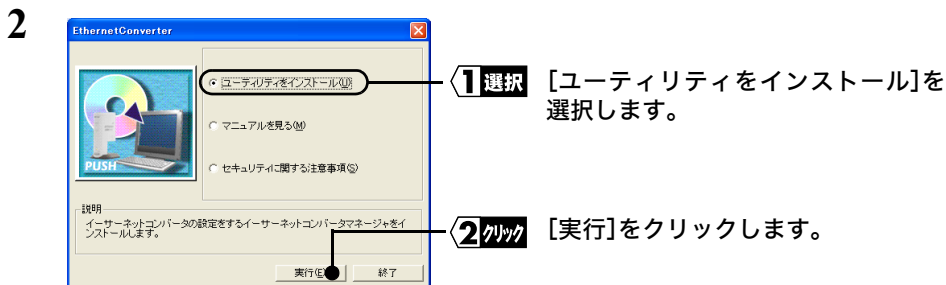
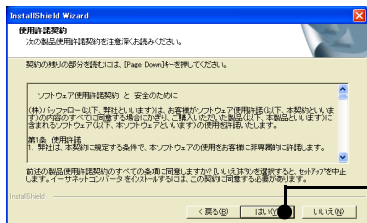
本製品のセットアップは、LAN ポートを搭載したパソコンから行ないます。

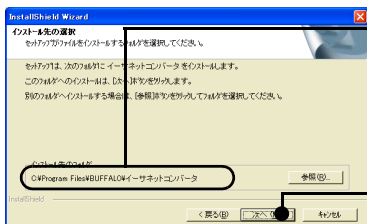
メモ
- **設定を行なうパソコンがハブを使って正しく通信できることを確認してください。**
- **Macintosh をお使いの方は、下記の手順１でケーブルを接続した後、「第 4 章　WEB 設定画面」を参照して設定をおこなってください。**

<LANポートが１ポートのみのイーサネットコンバータをお使いの場合>
(WLI3-TX1-G54/WLI2-TX1-AMG54など)

<LANポートが４ポートあるイーサネットコンバータをお使いの場合>
（WLI-TX4-G54HPなど）

Step 2 本製品（子機）の設定をしよう

1 添付の CD-ROM（Ethernet Converter CD）をパソコンにセットします。

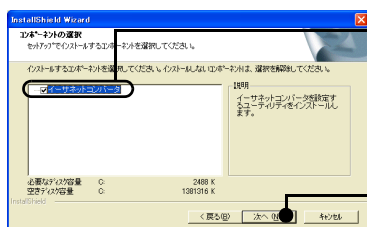
2

3

4

使用許諾契約を読み、同意できる場合は、[はい]をクリックします。

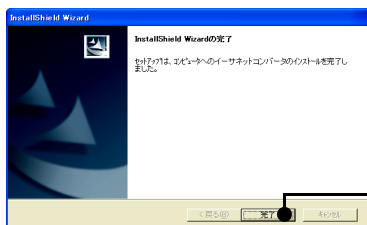
5

イーサネットコンバータマネージャのインストール先を確認します。

[次へ]をクリックします。

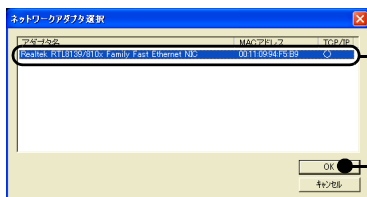
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。

6

「イーサネットコンバータ」がチェックされていることを確認します。

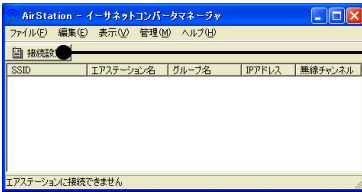
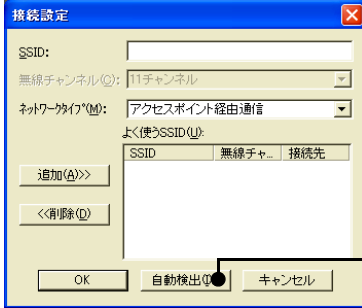
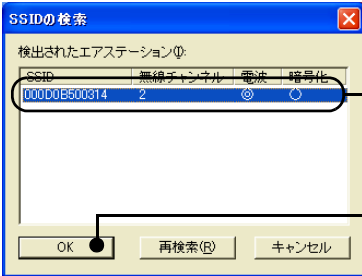
[次へ]をクリックします。

7

[完了]をクリックします。

8 [スタート]－[プログラム]－[BUFFALO]－[イーサネットコンバータ]－[イーサネットコンバータマネージャ]を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動します。

9

お使いの LAN アダプタを選択します。

[OK]をクリックします。

10

[接続設定]をクリックします。

11

[自動検出]をクリックします。

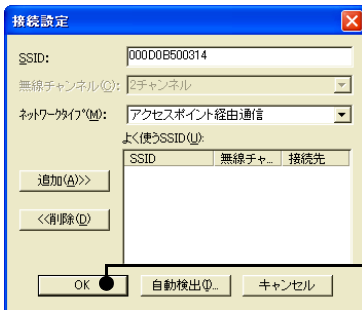
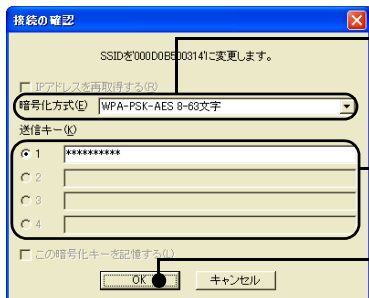
12

接続する AirStation を選択します。

[OK]をクリックします。

13

[OK]をクリックします。

14

1. AirStation の暗号化の種類を選択します。
2. AirStation の暗号キーを入力します。
3. [OK]をクリックします。

AirStation の検索が始まります。

15

1. AirStation 名が黒色で表示され、アンテナマークが表示されます。

AirStation 名が黒色で表示されたら、AirStation（親機）と無線で通信できるようになります。

16 イーサネットコンバータマネージャを閉じます。

これで、 設定は完了です。

第 4 章

WEB 設定画面

本製品の WEB 設定画面での設定方法を説明します。

4.1 本製品の WEB 設定画面の使い方

■ WEB 設定画面とは

本製品の WEB 設定画面からでも、AirStation との接続設定、IP アドレス設定や本製品の状態表示を確認することができます。

メモ　あらかじめ WEB ブラウザがインストールされていることが必要です。 各ブラウザの詳細については、 各ブラウザのメーカにお問合せください。

■ WEB 設定画面を表示する

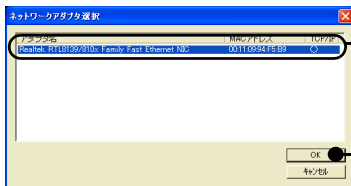
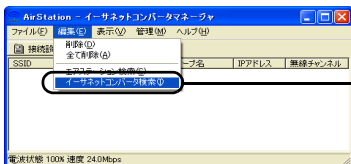
設定画面の表示手順は、お使いのパソコンによって異なります。該当するパソコン（OS）の項目を参照してください。

《Windows XP/2000/Me/98/95 の場合》

1　本製品とパソコンを付属の LAN ケーブルで接続してください。
（LAN ケーブルでパソコンと本製品を接続して設定する場合のみ）

2　「Step 2　本製品（子機）の設定をしよう」（P10）を参照して、イーサネットコンバータマネージャをインストールします。

3　[スタート]－[プログラム]－[BUFFALO]－[イーサネットコンバータ]－[イーサネットコンバータマネージャ]を選択します。
自動的に検索が始まります。

メモ　本製品をパソコンの LAN ポートに直接接続している場合は、 以下の手順で本製品の検索をおこなってください。

4

1 選択　検出された本製品のリストが表示されますので、設定したい本製品を選択します。

2 クリック　[IP 設定]をクリックします。

5

1 選択　本製品の IP アドレスを入力します。

2 クリック　[OK]をクリックします。

6

1 選択　IP アドレスを設定した本製品を選択します。

2 クリック　[WEB 設定]をクリックします。

7

1 入力　ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、
「ユーザー名」欄→ root（小文字）
「パスワード」欄→空欄
として、[OK]をクリックします。

2 クリック

8

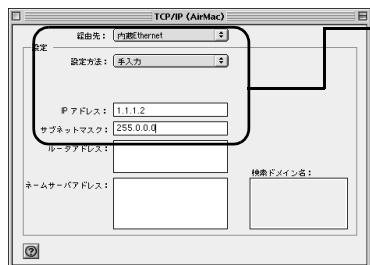
WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P67）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

《Mac OS 8.6 ～ 9.2 の場合》

メモ　Mac OS 9.0/9.1 を使用している場合は、 Open Transport を最新バージョンにアップデートしてください。 最新バージョンはアップルコンピュータ社ホームページ （http://www.apple.co.jp/） からダウンロードできます。 Open Transport についての詳細は、アップルコンピュータ社にお問い合わせください。

1 本製品とパソコンを付属の LAN ケーブルで接続してください。

2 ［アップルメニュー］ － ［コントロールパネル］ － ［TCP/IP］ を選択し、 次の通りに設定します。

「経由先」→「内蔵 Ethernet」
「設定方法」→「手入力」
「IP アドレス」→「1.1.1.2」
「サブネットマスク」→「255.255.255.0」
※ 上記は、 本製品が出荷時設定の場合の設定値です。
（本製品のIPアドレスの出荷時設定は 「1.1.1.1」 ）

3 Mac OS を再起動します。

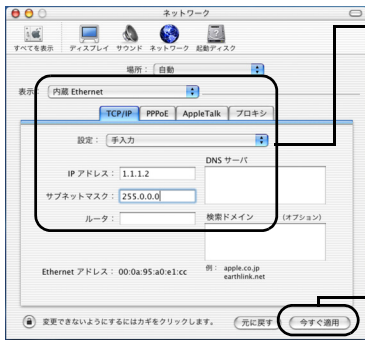
4 WEB ブラウザを起動します。

5 アドレス欄に 「http://1.1.1.1」 （出荷時設定の場合） と入力し、 ［Enter］ キーを押します。

6 設定画面が表示されます。
設定画面が表示されないときは、「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P67）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

《Mac OS X の場合》

1 本製品とパソコンを付属の LAN ケーブルで接続してください。

2 ［アップルメニュー］ － ［システム環境設定］ － ［ネットワーク］ を選択し、TCP/IP タブで次の通りに設定します。

1 入力

「表示」→「内蔵 Ethernet」
「設定方法」→「手入力」
「IP アドレス」→「1.1.1.2」
「サブネットマスク」→「255.255.255.0」

※ 上記は、本製品が出荷時設定の場合の設定値です。
（本製品の IP アドレスの出荷時設定は 「1.1.1.1」）

2 クリック

今すぐ適用をクリックします。

3 Mac OS を再起動します。

4 WEB ブラウザを起動します。

5 アドレス欄に 「http://1.1.1.1」 （出荷時設定の場合） と入力し、 ［Enter］ キーを押します。

6 設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P67）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

■ 設定画面の説明をヘルプで見る

本製品の設定画面について詳しく知るには、ヘルプを参照してください。
ヘルプは、以下の手順で表示できます。

1 「WEB 設定画面を表示する」（P42）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 設定項目のとなりにある「？」マークをクリックします。

3 ヘルプ画面が表示されます。

4.2 WEB 設定画面から設定する

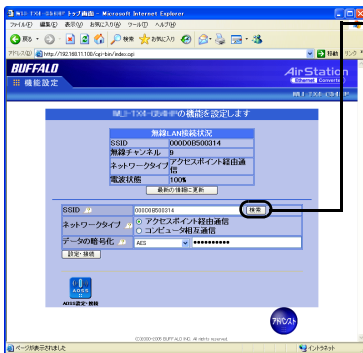
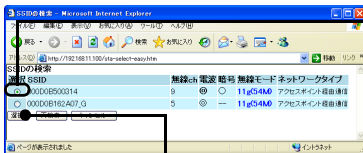
本製品は WEB サーバを搭載しています。本製品の IP アドレスが分かっている場合は、WEB ブラウザを使用して、本製品の設定を確認したり変更したりすることができます。

メモ　本製品の IP アドレスは、Windows 用付属ソフト「イーサネットコンバータマネージャ」を使って確認することができます。確認方法は、「本製品の IP アドレスがわからなくなった」(P71)を参照してください。

■ AirStation に接続する

WEB 設定画面から AirStation に接続するには、以下の手順をおこないます。

1 「WEB 設定画面を表示する」(P42)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 ①クリック [検索]をクリックします。

3 ①選択 検索された AirStation を選択します。

②クリック [選択]をクリックします。

4

1 入力

AirStation に暗号キーが設定してある場合は、暗号キーを入力します。
暗号キーが設定していない場合は、「暗号化しない」を選択します。

5

1 クリック

［設定・接続］をクリックします。

6 「完了しました」と表示されますので、「戻る」をクリックします。

7 トップ画面に戻りますので、「無線　LAN　接続情報」欄で接続状態を確認してください。

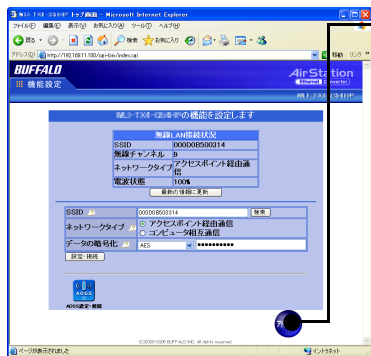
■ IEEE802.11a の無線機能を無効にする（屋外で使う場合）

≪この手順は、IEEE802.11a 対応製品のみの手順です≫

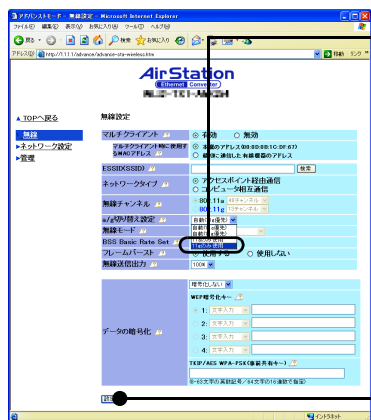
IEEE802.11a 対応無線アダプタは、電波法により屋外で使用することができません。そのため、本製品を屋外で使用する場合は、以下の手順で IEEE802.11a の無線機能を無効にする必要があります。

1 「WEB 設定画面を表示する」（P42）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2

1 クリック [アドバンスト]をクリックします。

3

1 選択 「a/g 切り替え設定」欄から「11g のみ使用」を選択します。

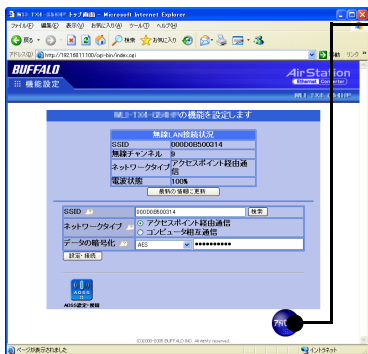
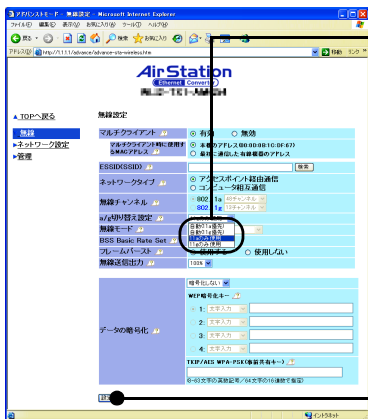
2 クリック [設定]をクリックします。

4 「完了しました」と表示されたら、設定完了です。

■ IEEE802.11g と IEEE802.11a を切り替える

≪この手順は、 IEEE802.11a/g 対応製品のみの手順です≫

IEEE802.11g と IEEE802.11a を切り替える場合は、 以下の手順をおこないます。

1 「WEB 設定画面を表示する」(P42)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 1 クリック ［アドバンスト］をクリックします。

3 1 選択 「a/g切り替え設定」欄で使用したい無線の種類を選択します。

2 クリック ［設定］ をクリックします。

4 「完了しました」と表示されたら、設定完了です。

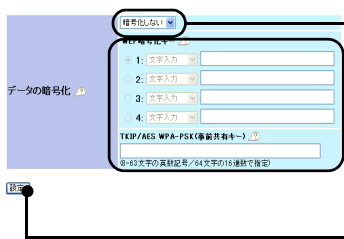
■ 暗号キーを設定する

本製品に暗号キーを設定するには、以下の手順をおこないます。

1 「WEB 設定画面を表示する」(P42)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 1 クリック　[アドバンスト]をクリックします。

3

1 選択　暗号化の種類を選択します。

2 入力　AirStation の暗号化設定に合わせて、暗号キーを設定します。

3 クリック　[設定]をクリックします。

※ お使いの製品によっては、上記設定画面が[無線]－[無線 LAN セキュリティ]メニューにあるものがあります。

メモ　暗号化の種類と暗号キーについて

- 暗号化の強度は、WEP ＜ TKIP ＜ AES の順で強くなります。
- WEP を選択した場合は、「WEP 暗号化キー」(文字列入力:半角英数字記号で 5 文字または13文字、16進数入力:0～9およびa～fの10桁または26桁)を入力します。
- TKIP/AES　を選択した場合は、「WPA-PSK(事前共有キー)」(文字列入力:半角英数字記号で8文字～63文字、16進数入力:0～9およびa～fの64桁)を入力します。
- 製品によって、設定できる暗号化の強度は異なります。

4 「完了しました」 と表示されたら、 設定完了です。

■ 設定画面のアクセス制限を設定する

設定画面を無線側から表示できなくしたり、有線側から表示できなくすることができます。(イーサネットコンバータマネージャからも検索ができなくなります。)

設定画面へのアクセス制限を設定するときは、以下の手順を行なってください。

1 「WEB 設定画面を表示する」(P42)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 [アドバンスト]をクリックします。

3 [管理]をクリックします。

4 [本体設定]をクリックします。

5

制限する項目を選択します。

[設定]をクリックします。

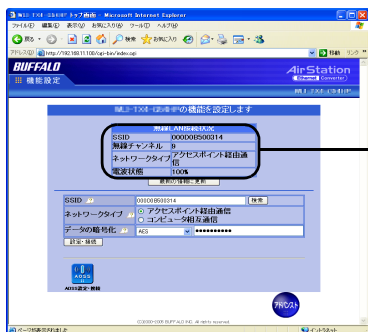
6 「完了しました」と表示されたら、設定完了です。

■ AirStation との接続状態を確認する

本製品を有線パソコンに接続して、無線パソコンとして使用する場合は、以下の手順で、AirStation との接続確認をすることができます。

1 「WEB 設定画面を表示する」（P42）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2

「無線LAN接続状況」欄で接続状態を確認してください。

メモ Windows パソコンをお使いの場合は、 イーサネットコンバータマネージャからでも接続状態を確認することができます。

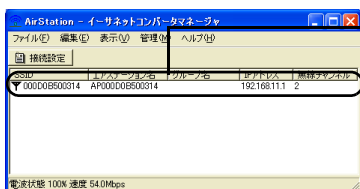
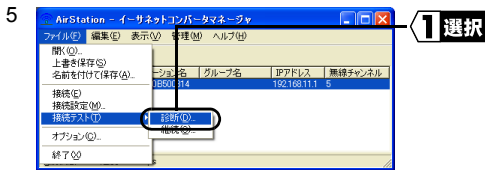
1 「Step 2　本製品（子機）の設定をしよう」（P10）を参照して、イーサネットコンバータマネージャをインストールします。

2 ［スタート］－［プログラム］－［BUFFALO］－［イーサネットコンバータ］－［イーサネットコンバータマネージャ］を選択します。

3

［編集］－［エアステーション検索］を選択します。

4

AirStation が黒で表示されることを確認します。

5 「ファイル」ー「接続テスト」ー「診断」を選択します。

6 接続テストが開始されますので、送信パケット数が 100 になるまでお待ちください。

7 接続テストの結果が表示されます。

接続状態		電波状態	
	最適		最適
	良好		良好
	悪い		問題あり
	最悪		悪い
		圏外	通信不可

接続状態と電波状態の結果を総合的に判断して、 診断結果が表示されます。

良好 ： 総合的に問題ありません。　　不適合 ： 不安定な状態であることを示します。

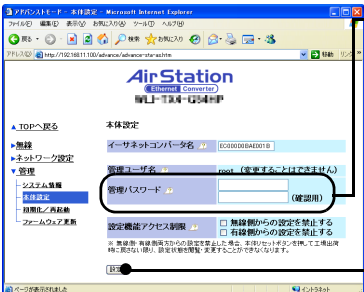
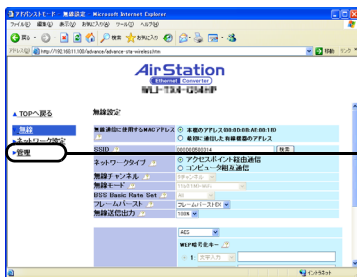
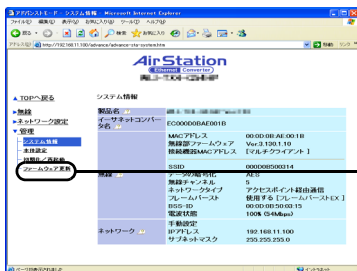
診断結果が不適合の場合は以下の対策を試みてください。

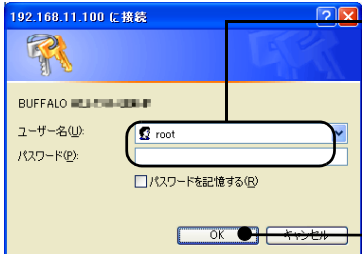
1 無線パソコンを AirStation に近づけます。(ただし、30cm 以内に近づけないでください)
2 AirStation の位置を変更する。
3 AirStation と無線パソコン間の見通しをよくします。
4 AirStation、無線パソコンの近くに電子レンジ等の電波発生源がないことを確認します。

■ 設定画面のパスワードを設定する

本製品の設定画面のパスワードを設定するには、以下の手順をおこないます。パスワードを設定すると、設定画面を表示する前にパスワードの入力画面が表示されます。

1 「WEB 設定画面を表示する」(P42)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 1クリック [アドバンスト]をクリックします。

3 1クリック [管理] をクリックします。

4 1クリック [本体設定]をクリックします。

5

1 入力　設定するパスワードを入力します。

2 クリック　[設定]をクリックします。

6　「完了しました」と表示されたら、設定完了です。

メモ　パスワードとして入力できるのは、半角英数字と "_"(アンダーバー)の組み合わせで、最大8 文字までです。大文字小文字は別の文字として認識されます。
パスワードを忘れてしまった場合は、本製品の設定初期化スイッチを押すと、パスワードなしの状態(出荷時設定)に戻すことができます。ただし、パスワード以外の設定もすべて出荷時設定に戻ります。
設定初期化スイッチについては、「らくらく！セットアップシート」の「**各部の名称とはたらき**」を参照してください。

メモ　パスワードを設定したときは、 設定画面を表示するときに表示されるネットワークパスワードの入力画面で以下のように入力します。

1 入力　ユーザー名 :「root」を入力します。
パスワード :設定したパスワードを入力します。

2 クリック　[OK]をクリックします。

■ 本製品の IP アドレスを変更する

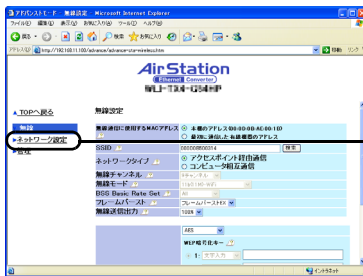
本製品の IP アドレスの設定を変更するときは、 以下の手順でおこなってください。

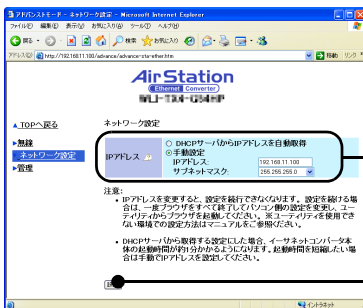
1 「WEB 設定画面を表示する」(P42) を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2

1 クリック ［アドバンスト］をクリックします。

3

1 クリック ［ネットワーク設定］をクリックします。

4

1 入力 本製品の IP アドレスを入力します。

2 クリック ［設定］をクリックします。

5 「完了しました。」と表示されたら、設定完了です。

メモ Windows パソコンをお使いの場合は、 イーサネットコンバータマネージャからでも本製品の IP アドレスを変更することができます。

1 「本製品(子機)の設定をしよう」(P10)を参照して、パソコンにイーサネットコンバータマネージャをインストールします。

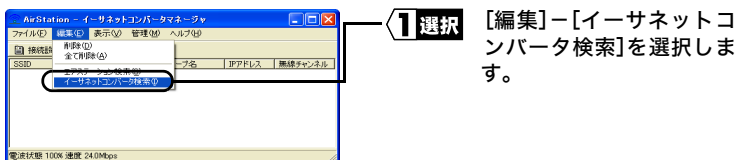
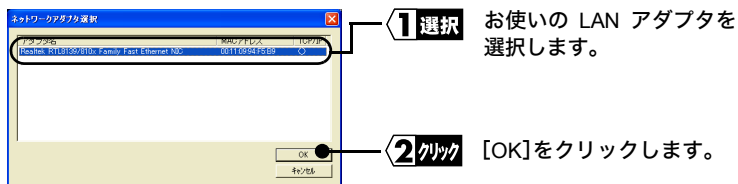
2 [スタート]－[プログラム]－[BUFFALO]－[イーサネットコンバータ]－[イーサネットコンバータマネージャ]を選択します。

メモ 本製品をパソコンの LAN ポートに直接接続している場合は、以下の手順で本製品の検索をおこなってください。

お使いの LAN アダプタを選択します。

[OK]をクリックします。

[編集]－[イーサネットコンバータ検索]を選択します。

3

検出された機器のリストが表示されますので、設定したい機器を選択します。

[IP 設定]をクリックします。

4

本製品の IP アドレスを入力します。

[OK]をクリックします。

5

IP アドレスが設定されたことを確認してください。

6 [閉じる]をクリックして、イーサネットコンバータマネージャを終了してください。

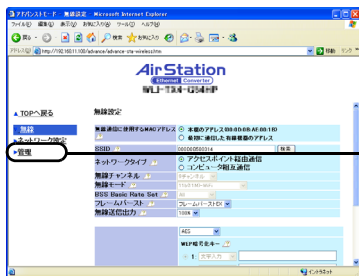
■ 本製品の設定を出荷時設定に戻す

1 「WEB 設定画面を表示する」(P42)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

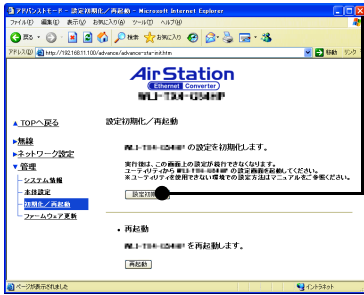
2

1クリック [アドバンスト]をクリックします。

3

1クリック [管理] をクリックします。

4

1クリック [初期化／再起動]をクリックします。

5

[設定初期化]をクリックします。

6 以後は画面にしたがってください。

第5章

困ったときは

本製品を使用して発生する現象とその原因、 対策方法について説明します。

5.1 設定で困ったとき

5.1 設定で困ったとき

イーサネットコンバータマネージャで本製品が検索できません

原因①： ネットワークアダプタのドライバが正常にインストールされていません。

対策①： ネットワークアダプタのマニュアルを参照して、ドライバをインストールしてください。

原因②： LAN ケーブルが接続されていない

対策②： **< LAN ポートが 1 ポートのみのイーサネットコンバータをお使いの場合>**
（WLI3-TX1-G54/WLI2-TX1-AMG54(-AG54)/WLI-T1-B11 など）

本製品の前面パネルにある ETHERNET ランプやパソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタなどの LAN ポートのリンクランプが点灯しているか確認してください。ETHERNET ランプが点灯していないときは、以下の項目を確認してください。

- パソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタと本製品が、LAN ケーブル（ストレート）で確実に接続されていることを確認してください（「カチッ」と音がするまで差し込んでください）。
- 正常に通信できている他の LAN ケーブルを使用して、再度イーサネットコンバータマネージャから検索を行なってください。

< LAN ポートが 4 ポートあるイーサネットコンバータをお使いの場合>
（WLI-TX4-G54HP など）

本製品の LAN ポートにある LAN ランプやパソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタなどの LAN ポートのリンクランプが点灯しているか確認してください。LAN ランプが点灯していないときは、以下の項目を確認してください。

- パソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタと本製品が、LAN ケーブル（ストレート）で確実に接続されていることを確認してください（「カチッ」と音がするまで差し込んでください）。
- 正常に通信できている他の LAN ケーブルを使用して、再度イーサネットコンバータマネージャから検索を行なってください。

原因③： AirStation に暗号化の設定がされている（無線パソコンから AirStation を使って本製品を設定する場合)。

対策③： 無線パソコンのみの環境で本製品を導入する際は、一度、AirStation の暗号化設定を無効にする必要があります。AirStation の暗号化設定を無効にして、再度イーサネットコンバータマネージャから検索を行なってください。

原因④： DHCP サーバがネットワークに存在しない環境で、本製品の IP アドレスを自動的に取得する設定にした場合、IP アドレスの取得動作中は通信できません。（出荷時の本製品の IP アドレスは固定で「1.1.1.1」に設定されています。）

対策④： DHCP サーバがない場合は、約２分間通信することができなくなります。IP アドレスを手動で設定した後に、もう一度イーサネットコンバータマネージャで AirStation を検索してください。

原因⑤： ファイアウォールの機能が有効となっている常駐ソフトがインストールされている。

対策⑤： ファイアウォール機能を無効に設定するか、ソフトウェアをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

《トレンドマイクロ社のウイルスバスター 2004/2005 の場合》
「パーソナルファイアウォール機能」を無効に設定した状態でご利用ください。
詳細は、以下を参照してください。

手順

1 メイン画面より[パーソナルファイアウォール]ボタンをクリックし、カテゴリ画面の[パーソナルファイアウォール設定]ボタンをクリックします。
2 「パーソナルファイアウォールを有効にする」チェックボックスをクリックします。ボックスにチェックが入っている場合は、パーソナルファイアウォールは有効です。
3 設定変更が完了したら[適用]をクリックし、メイン画面を終了します。

《トレンドマイクロ社のウイルスバスター 2003 の場合》

「パーソナルファイアウォール機能」を無効に設定した状態でご利用ください。詳細は、以下を参照してください。

手順

1 [スタート]－[(すべての)プログラム]－[トレンドマイクロ　ウイルスバスター2003]より、[ウイルスバスター2003 設定]を選択します。
2 ウイルスバスター2003　設定画面より、[パーソナルファイアウォール]－[セキュリティレベル]をクリックし、[セキュリティレベル設定]画面を表示します。
3 [セキュリティレベル設定]画面より、「パーソナルファイアウォールを有効にする」の先頭にあるチェックボックスのチェックを外してください。
4 設定変更が完了したら[適用]をクリックし、設定画面を終了します。

《トレンドマイクロ社のウイルスバスター 2002 の場合》

「パーソナルファイアウォール機能」 を無効に設定した状態でご利用になるか、手動設定でネットワークアダプタの IP アドレスを「信頼するコンピュータ」 として登録してください。 詳細は、 以下を参照してください。

○パーソナルファイアウォール機能を無効にする方法

1 [スタート]－[(すべての)プログラム]－[トレンドマイクロウイルスバスター2002]－「ウイルスバスター2002 設定」を選択します。
※ウイルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウイルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。
2 ウイルスバスター2002　操作画面内のクイック設定より「パーソナルファイアウォール」のチェックボックスを外し、[適用]をクリックします。

○ AirStation の IP アドレスを登録する方法

1 [スタート]－[(すべての)プログラム]－[トレンドマイクロウイルスバスター2002]－「ウイルスバスター2002 設定」を選択します。
※ウイルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウイルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。
2 ウイルスバスター2002　の設定画面の左側のメニューから「パーソナルファイアウォール」－「信頼するコンピュータ」を選択します。
3 「信頼するコンピュータ」欄にネットワークアダプタが表示されますので、チェックを入れて[適用]をクリックします。

原因⑥ ： 無線の電波が届いていません（無線パソコンから AirStation を使って本製品を設定する場合）。

対策⑥ ： AirStation と本製品との距離を短くしたり、 障害物をなくして見通しをよくしてから再接続してください。

原因⑦ ： AirStation に MAC アドレス制限設定がされています。

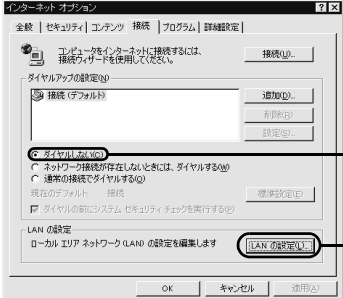
対策⑦ ： 無線パソコンから MAC アドレス制限設定をしている AirStation を使って本製品を設定する場合は、AirStation に本製品の無線側 MAC アドレスを登録する必要があります。
MAC アドレスの登録方法は各 AirStation のマニュアル・オンラインガイドをご参照下さい。
また、 本製品を使って通信をする機器 （パソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタなど） の有線側 MAC アドレスも登録する必要があります。

設定画面が表示されない

本製品を検索することはできますが、 設定画面が表示されない。

原因① ： IP アドレスの割り振りかたが間違っている。

対策① ： パソコンと AirStation に同じネットワークの IP アドレスが設定されているか確認してください。IP アドレスの割り振りかたは、「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P72）を参照してください。

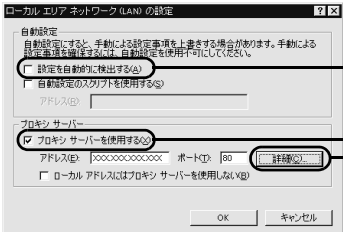
原因②：
- WEB ブラウザの設定でプロキシが設定されていると、設定画面が表示されません。
- インターネット接続時にモデムやTAを使用してダイヤルするように設定されています。

対策②：下記のいずれかの対策があります。
- プロキシサーバの存在するネットワーク環境で本製品を設定するときは、WEB ブラウザのプロキシ設定を変更する必要があります。
- WEB ブラウザの設定で、ダイヤルしない設定に変更する必要があります。

次の手順で設定をおこなってください。

Internet Explorer5.0 以降（Windows パソコン）の場合

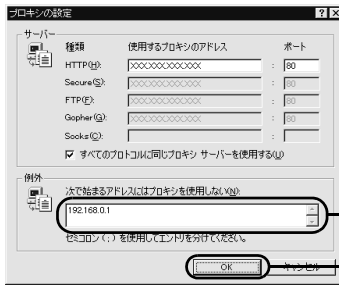
1 Internet Explorer を起動します。

2 ［ツール］－［インターネットオプション］を選択します。

3 ［接続］をクリックします。

4

5

「プロキシサーバーを使用する」がチェックされていないときは、WEB ブラウザの設定に問題ありません。

6

1 入力

「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」欄に、本製品の IP アドレスを入力します。

2 クリック

[OK]をクリックします。

メモ　本製品の IP アドレスがわからないときは、**「本製品の IP アドレスがわからなくなった」(P71)** を参照して、割り当てられている IP アドレスを確認してください。

Internet Explorer5.0 以降(Mac OS 8.6 以降)の場合

1　**Internet Explorer を起動します。**

2　**[編集]－[初期設定]を選択します。**

3　**[初期設定]画面の左側に表示されている[ネットワーク]－[プロキシ]を選択します。**

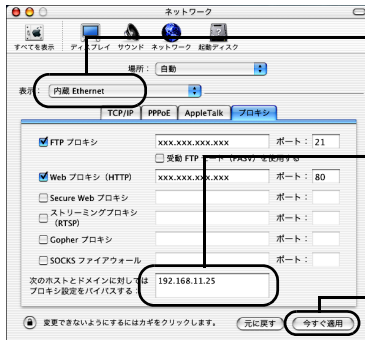
4　**「WEB プロキシ」のチェックマークをはずして、[O K]をクリックします。**

Safari　(Mac OS X)　の場合

1　**[アップルメニュー]－[システム環境設定]－[ネットワーク]を選択し、TCP/IP タブで次の通りに設定します。**

2

「プロキシ」をクリックします。

3

1 選択 「内蔵 Ethernet」を選択します。

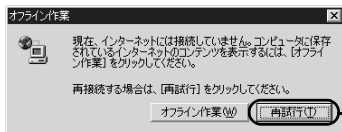
2 入力 「次のホストとドメインに対してはプロキシ設定をバイパスする」欄に本製品のIPアドレスを入力します。

3 クリック 今すぐ適用をクリックします。

4 **「システム環境設定」－「システム環境設定の終了」を選択します。**

原因③： Internet Explorer5.0を使う場合、「オフライン作業」ダイアログが表示されてしまい、設定画面が表示されません。

対策③： 以下のように表示された場合は、［接続］をクリックしてください。

以下のように表示されたときは、［再試行］をクリックしてください。

AirStation での無線パソコン制限設定が正しく動作しない

無線パソコンの制限設定をしている AirStation と通信させるため、 本製品の MAC アドレスを AirStation に登録しましたが、 正しく通信できません。

原因① ： AirStation に、 本製品を接続している機器 （パソコン／ゲーム機／デジタル家電／プリンタ等）のMACアドレスが登録されていない可能性があります。

対策① ： 無線パソコンの制限設定をしているAirStationと本製品を通信させる場合は、以下の 2 つの MAC アドレスを AirStation に登録することが必要です。

- 本製品の MAC アドレス
- 本製品を接続した機器（パソコン／ゲーム機／デジタル家電／プリンタ等）の MAC アドレスを AirStation に登録する必要があります。

※ 本製品の MAC アドレスを登録しただけでは、通信できませんのでご注意ください。

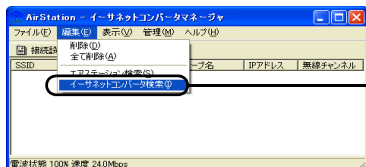
本製品の IP アドレスがわからなくなった

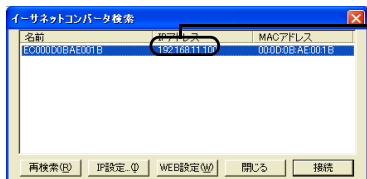
本製品の IP アドレスがわからなくなった場合は、Windows パソコンから確認することができます。

メモ Windows パソコンをお持ちでない場合は､IP アドレスを確認することができません｡設定初期化スイッチを DIAG ランプが赤色点灯するまで(約 3 秒間)押して初期化してから再度設定しなおしてください｡(IP アドレスの初期値:1.1.1.1)

1 **「本製品（子機）の設定をしよう」（P10）を参照して、パソコンにイーサネットコンバータマネージャをインストールします。**

2 **[スタート]－[プログラム]－[BUFFALO]－[イーサネットコンバータ]－[イーサネットコンバータマネージャ]を選択します。**
自動的に検索が始まります。

メモ 本製品をパソコンの LAN ポートに直接接続している場合は、 以下の手順で本製品の検索をおこなってください。

1 選択 [編集]－[イーサネットコンバータ検索]を選択します。

3

検出した本製品のリストが表示されますので、「IP アドレス」欄で本製品の IP アドレスを確認してください。

4 [閉じる]をクリックして、イーサネットコンバータマネージャを終了してください。

IP アドレスの割り振りかたがわからない

以下を参考にして、 IP アドレスを設定してください。

ネットワーク上に DHCP サーバ※が存在する場合

IP アドレスの設定を、 以下のように設定します。

WindowsMe/98/95 ： 「IP アドレスを自動的に取得」
WindowsXP/2000 ： 「IP アドレスを自動的に取得する」
WindowsNT4.0 ： 「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」

ネットワーク上のパソコンに IP アドレスがすでに割り振られている場合

パソコンに設定する IP アドレスを、 ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク上のパソコンに IP アドレスが割り振られていない場合

パソコンおよび AirStation の IP アドレスを、 以下のように設定します。

＜設定例＞

		IP アドレス	ネットマスク
AirStation	：	192.168.11.1	255.255.255.0
パソコン A	：	192.168.11.2	255.255.255.0
パソコン B	：	192.168.11.3	255.255.255.0
パソコン C	：	192.168.11.4	255.255.255.0
・			
パソコン X	：	192.168.11.254	255.255.255.0

※ DHCP サーバは、ネットワーク上のパソコンに IP アドレスを自動的に割り振るサーバです。Windows Server 2003/Windows 2000/NT サーバやブロードバンドルータなどの、DHCP サーバ機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバ機能が動作している場合があります。Windows Server 2003/Windows 2000/NTサーバやブロードバンドルータの、DHCPサーバ機能が動作しているかどうかは、Windows Server 2003/Windows 2000/NTサーバのマニュアルまたはブロードバンドルータのマニュアルを参照するか、メーカにお問い合わせください。
ネットワーク上に WindowsMe/98/95 のパソコンしかないときは、DHCP サーバは存在しません。

第6章

用語集

ネットワーク関連の用語について説明しています。

6.1 ネットワーク関連の用語

■ 英語表記や略記が一般的な用語

アルファベット順に説明します。英語の後にカタカナ表記が続く用語もここで説明します。

AES（Advanced Encryption Standard：エー・イー・エス）

IEEE802.11i で策定されている次世代暗号化方式です。WEP 脆弱性の原因は採用している暗号方式（RC4 暗号）自体に解読手法が存在するためであり、TKIP で脆弱性の改善はされていますが、暗号方式自体を抜本的に見直したものが AES です。
TKIP が暗号化をソフトウェアで処理するため、通信速度が 10 ～ 20%ダウンするのに対し、AES は暗号化をハードウェアで処理するため、速度ダウンがないのが大きな特徴です。

DHCP サーバ（Dynamic Host Configuration Protocol）

TCP/IP でネットワークを構築するときは、必ず各パソコン等の機器に IP アドレスを設定する必要があります。
DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンやエアステーションに IP アドレスを自動的に割り振ることができます。Windows Server 2003/Windows 2000/NT サーバやブロードバンドルータなどの DHCP サーバ機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバ機能が動作している場合があります。
Windows Server 2003/Windows 2000/NT サーバやブロードバンドルータの DHCP サーバ機能が動作しているかどうかは、Windows Server 2003/Windows 2000/NT のマニュアルまたはブロードバンドルータのマニュアルを参照するか、メーカにお問い合わせください。ネットワーク上に下記のパソコンしかないときは、DHCP サーバは存在しません。

・Windows XP Professional/Home Edition
・Windows 2000 Professional
・Windows Me/98/95
・Mac OS

ESSID（SSID）【(Extended) Service Set ID】

無線 LAN パソコンと AirStation の通信時に混線しないための ID です。
AirStation と同一の ESSID（SSID）を設定した無線 LAN パソコンが、AirStation と通信できます。ESSID（SSID）は、大文字・小文字の区別があり、半角英数字および半角記号が 32 文字まで入力できます。

LAN（Local Area Network）

「ラン」と発音します。1 つの建物の中やキャンパスの敷地内など比較的狭い地域でのネットワークです。10Mbps ～ 100Mbps の伝送速度が一般的です。

MAC アドレス（Media Access Control Address）

ネットワーク機器ごとの固有の物理アドレスです。
MAC アドレスは、先頭からの 3 バイトのベンダコードと残り 3 バイトのユーザコードの 6 バイトで構成されます。
ベンダコードは、IEEE が管理／割り当てを行っており、ユーザコードは、ネットワーク機器の製造メーカが独自の番号（重複はしない）で管理を行っています。つまり、MAC アドレスは、世界中で単一の物理アドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてパケット（フレーム）の送受信を行っています。

TCP/IP（Transmission Control Protocol ／ Internet Protocol）

OSI 参照モデルのネットワーク層とトランスポート層に相当するプロトコルで、RFC によって定義されています。
そのため、TCP/IP を実行していれば異なる端末間で互いに通信することができます。

- 通常は、TELNET や FTP といったアプリケーションプロトコルも含まれます。
- インターネット標準のプロトコルです。

TKIP（Temporal Key Integrity Protocol：ティーキップ）

無線 LAN のデータ暗号化方式である WPA に用いられている暗号化プロトコルです。従来の暗号化方式である WEP にあった、同じキーを使いつづけるため発生する脆弱性を克服するために、キーを自動的に変更して暗号化を行うように改良された暗号化プロトコルが TKIP です。
定期的に使用する暗号キーを変更するため、キーの解析が困難となり、より強固なセキュリティを持った無線 LAN を構築することが可能です。

WEP（Wired Equivalent Privacy：ウェップ）

無線 LAN の規格である 802.11 に追加されたデータを暗号化する機能です。暗号キーに 40 ビット（64 ビット）長のデータを使う旧方式と 104 ビット（128 ビット）長のデータを使う新方式の２つがあり、この暗号キーを元に送受信データを暗号化します。
ビット数の値が大きいほど（40bit ＜ 128bit）暗号が複雑化し、セキュリティ度が向上します。

Wi-Fi（the Standard for Wireless Fidelity : ワイファイ）

無線 LAN 技術の推進団体 Wi-Fi Alliance（旧称 WECA：Wireless Ethernet Compatibility Alliance）では、無線 LAN の相互接続性テストをおこなっており、テストをクリアした製品にのみ「Wi-Fi」ロゴが与えられます。

■　カタカナ表記が一般的な用語

50 音順に説明します。カタカナのあとに英語表記が続く用語も説明します。

ファームウェア

ルータ／モデム／TAなどのハードウェアに組み込まれているソフトウェア（プログラム）のことです。
ハードウェアに組み込まれているソフトウェアなので、ハードウェアとソフトウェアの中間的なものといえます。

フレームバースト

無線通信する場合、通常はパケットを送った後、次のパケットを送る前に他のクライアントが使用されているかどうかの確認を取ります。
確認後､他のクライアントからのアクセスがないと判断した場合にパケットを送ります。
フレームバーストとは、このような確認を短縮し、パケットを連続して送りつづける AirStation 独自機能です。これにより、無線の通信速度を高速化できます。

プロトコル

ネットワーク端末間でデータの受け渡しを行うための手順や規則です。例えば、2 つのコンピュータが通信を行う場合に、どちらが先にどのようなメッセージを送信するか、また、そのメッセージを受けてどのようなメッセージを返すか、データの形式はどうなっているか、通信エラーの対応など、通信を行ううえで必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達を行うことができます。

無線チャンネル

同一のフロアに、ESSID（SSID）の異なる無線 LAN ネットワークがいくつかあるとき、他の無線 LAN ネットワークで通信していると､通信速度が遅くなることがあります。これは、同じ周波数の電波を使用しているためです。この場合は、それぞれの無線 LAN ネットワークごとに使用する電波の周波数（無線チャンネル）を重複しないように設定することで、他の無線 LAN ネットワークに相互干渉もなく通信することができます。

※　無線 LAN で通信する場合は、必ず無線チャンネルを同一の設定にする必要があります。